

北九州市道路公社



# 北九州市道路公社

## I 法人の概要 (平成 25 年 4 月 1 日現在)

### 1 所在地

北九州市戸畑区川代一丁目 1 番 1 号

### 2 設立年月日

平成 17 年 11 月 1 日

### 3 代表者

理事長 宮野前 敏雄

### 4 基本金

742,400 千円

### 5 北九州市の出資金

742,400 千円 (出資の割合 100.0%)

### 6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	3 人	0 人	1 人	2 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	2 人	0 人	0 人	2 人
職 員	10 人	8 人	0 人	2 人

## II 平成 24 年度事業概要

### 1 利用実績

平成 18 年 4 月、市から若戸大橋を引き継ぎ、平成 24 年 9 月に供用開始した若戸トンネルとともに管理運営を行っている。

若戸大橋と若戸トンネルの年間通行台数は 16,221,683 台、料金収入は 13 億 2,245 万円だった。料金収入の内訳 (構成比) は、現金収入が 48.6%、回数券販売収入が 45.0%、E T C 収入が 6.4% であった。

#### (1) 交通量

	H24 実績	H24 予算	H23 実績	対予算比%	対前年比%
年間 (千台)	16,221	16,498	16,571	98.3	97.9
日平均 (台)	44,443	45,200	45,279		

(2) 料金収入

	H24 実績	H24 予算	H23 実績	対予算比	対前年比%
年間 (千円)	1,322,452	1,341,000	1,355,390	98.6	97.6
日平均 (千円)	3,623	3,673	3,703		

2 事業実績

将来にわたる若戸大橋の健全性を確保するため、平成 23 年度に引き続き、ケーブル関係の塗装塗替や補修工事を実施するとともに、長期的な維持管理を考慮し、主塔及び橋台内スプレー室等に除湿設備を導入することで、将来の塗装塗替費用の縮減に努めた。

また、若戸大橋の吊橋部の耐震対策に取り組むため、その予備的な検討として、他事例を参考とした耐震検証業務を行った。

なお平成 24 年度は、新若戸道路の供用開始に伴い、交通管理管制業務の充実を図った。

平成 24 年度 主な工事等

業 務 名	費用 (千円)	概 要
ケーブル関係補修工事	226,434	メインケーブル等の塗替塗装、ケーブルバンドボルトの取替等
橋台等補修工事	151,079	橋台、若松主塔基礎のコンクリート補修
道路保全、交通管理、管制業務	94,351	道路清掃、雪氷作業、監視・パトロール等
除湿設備設置工事	30,597	主塔、橋台スプレー室腐食対策
耐震検証業務	13,965	吊橋部の耐震対策に係わる事前検証

### Ⅲ 平成 24 年度決算

#### 1 貸借対照表

平成25年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流 動 資 産	1,431,439,051	流 動 負 債	140,219,459
預金	1,369,488,975	未払金	121,881,805
未収金	55,310,587	預り金	18,337,654
その他の未収金	6,639,489	固 定 負 債	7,600,200,000
固 定 資 産	11,363,058,438	政府借入金	1,068,600,000
事業資産	10,890,881,686	長期借入金	6,531,600,000
道路	10,890,881,686	特別法上の引当金	4,311,678,030
有形固定資産	466,925,934	事業損失補てん引当金	1,122,620,972
建物	312,954,188	償還準備金	3,420,656,625
機械及び装置	194,446,350	償還準備金取崩	▲231,599,567
車両及び運搬具	5,898,620	(負債合計)	12,052,097,489
工具・器具及び備品	36,802,453		
有形固定資産減価償却累計額	▲83,175,677	基 本 金	742,400,000
無形固定資産	5,250,818	北九州市出資金	742,400,000
電話加入権	362,040	(資本合計)	742,400,000
ソフトウェア	5,333,212		
無形固定資産減価償却累計額	▲444,434		
資 産 合 計	12,794,497,489	負 債 ・ 資 本 合 計	12,794,497,489

2 損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日 (単位：円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
業務費	15,290,040	業務収入	1,323,476,984
事務費	15,290,040	料金収入	1,322,452,494
管理業務費	1,175,968,896	道路占用料収入	801,300
管理業務費	1,175,968,896	業務負担金収入	193,470
一般管理費	178,364,852	業務雑収入	29,720
一般管理費	178,364,852	業務外収入	34,775,894
特別法上の引当損等	▲80,461,567	利息収入	850,547
事業損失補てん引当損	151,138,000	雑収入	33,925,347
償還準備金繰入額	▲231,599,567		
その他の引当損	21,218,543		
固定資産減価償却費	21,218,543		
業務外費用	47,872,114		
支払利息	47,872,114		
合計	1,358,252,878	合計	1,358,252,878

## IV 平成25年度事業計画

《平成25年度の事業計画概要》

若戸大橋及び若戸トンネルの安全で安心な通行の確保に取り組んでいくことを第一に、費用対効果を十分精査のうえ、長期保全計画に基づき、維持補修対策を講じる。

### 1 営業計画

(若戸大橋及び若戸トンネル)

若戸大橋 2.1 kmの年間通行台数は 11,059,500 台、料金収入は 9 億 400 万円と見込み、若戸トンネル 2.1 kmの年間通行台数を 5,110,000 台、料金収入を 4 億 1,700 万円と見込んでいる。合計通行台数は 16,169,500 台、合計料金収入を 13 億 2,100 万円と見込んだ。

(注：若戸大橋と若戸トンネルの通行台数の割合は平成17年交通センサスを参考に算定。)

### 2 事業実施概要

若戸大橋の将来にわたる健全性を確保するため、長期保全計画に基づき、維持管理工事を実施する。

道路や施設等の老朽化に対する補修を実施する。

平成25年度(予定) 主な工事等

業 務 名	見込費用(千円)
取付橋支承取替工事	130,000
トラス橋(上り線)塗替塗装工事	120,000
橋台伸縮装置取替工事	20,000
耐震設計検証	30,000

## V 平成 25 年度予算

### 1 予定損益計算書

自 平成25年 4月 1日

至 平成26年 3月31日 (単位: 千円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
管 理 業 務 費	956,452	業 務 収 入	1,324,049
管理業務費	956,452	料金収入	1,321,000
一 般 管 理 費	213,280	原因者負担金	2,000
一般管理費	213,280	道路占用料収入	800
特別法上の引当損等	85,514	業務負担金収入	210
事業損失補てん引当損	151,000	業務雑収入	39
償還準備金繰入額	▲ 65,486	業 務 外 収 入	2,282
その他の引当損	22,240	利息収入	552
固定資産減価償却費	22,240	雑収入	1,730
業 務 外 費 用	42,198		
支払利息	42,198		
特別損失	6,647		
合 計	1,326,331	合 計	1,326,331



## VI 役員名簿等

### 1 役員名簿

平成 25 年 7 月 1 日現在

役員名	氏名	備考
理事長	宮野前 敏 雄	
理事	松 永 功	北九州市建築都市局都市整備担当理事（兼任）
監事	伊 藤 正 志	北九州市財政局長（兼任）